

苫小牧市食育に関する市民アンケート調査方法と今後の方向性

1 目的

「第2次苫小牧市食育推進計画」の評価及び「第3次苫小牧市食育推進計画」の策定に向けた資料として、苫小牧市民の食生活の実態や食育への関心等を把握すること。

2 対象者

- (1) 一般市民（無作為抽出）・・・・・・・・・・1,680名
- (2) 就労者（市内企業等に従事する職員）・・・・・・・・9企業
- (3) 保護者（市内保育園児等の保護者）・・・・・・・・5園
- (4) 学生（市内高等専門学校等の学生）・・・・・・・・2校

3 配布予定数

4,000 枚

4 実施期間

令和8年5月7日（木）～5月25日（月）

5 方法

回答票を送付し、返送もしくはWEB回答

6 内容

「令和8年度 苫小牧市食育に関するアンケート調査」のとおり

7 今後の方向性

国は現在、第5次食育推進基本計画の作成を進めており、重点事項としては、学校等での食や農に関する学びの充実、健全な食生活の実践に向けた大人の食育の推進、国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大の3点が挙げられている。

北海道は現在、第5次食育推進計画の期間中であり、主な推進施策は、健全な食生活の実践、食に関する知識の習得、食育の担い手育成と地域の推進基盤の強化、とされている。

上記にある国や北海道の方向性を踏まえつつ、市民アンケート結果等から市の現状を分析したうえで、本市の第3次計画を充実させていく。また、当課が所管する健康増進計画との統合も見据え、第3次計画については、現健康増進計画の終期である令和11年度までの3か年とすることも視野に入れ検討を進める。